

# どんぐり山行通信 第126号

## 富山 (とみさん 349.5m)

2018年1月20日(土)

小雨のち晴れ

参加者 16名

鶴ヶ島

DNC

どんぐり山行会

今年初めての山行で、登りぞめは千葉の富山。バスは大渋滞の下り線を尻目に夜明け前の関越道を南下し、首都高速を羽田方向に向かう。ベイブリッジを過ぎて海ほたるPAで休憩したところから小雨模様になったが、それも目的の福満寺登山口に着く頃には止んでいた。◆身支度を整え出発。歩き出すとすぐ福満寺が現れ、まずは赤ら顔をした山門の仁王様にご挨拶。今日は二十四節気の大寒だというのがさほど寒さを感じない。むしろ山道に入ると雨上がりのせいか湿度が高く汗ばんできた。やがて水仙の群生地が現れ、湿気の多い空気にはほのかな香りが漂う。登山道は歩きやすく、所々で暖地性のアオキ、フウトウカズラ、ハナミョウガなどが赤い実をつけていた。◆十合目までの標石を追いながら登ると南峰山頂に到着。ここには「里見八犬士終焉の地」碑や「富山愛の鐘」などがあり、今更とは思いますがご利益を念じて愛の鐘をたたく。5分ほどで北峰(349.5m)に到着。山頂付近は霧に包まれていたが、ここには展望台や皇太子殿下・妃殿下が登られた散策記念碑があった◆昼食をすませ、そのあとはジグザグした階段道の急勾配を一気に下り、八犬伝にまつわる伏姫籠穴を見学。この辺りからは青空が広がり、山里らしいのどかな田園風景が広がっていた。水仙遊歩道では、下山してきた人達のアドバイスで遊歩道の出口側から山に向かうことにした。◆ぬかるんだ道に気を配りながら進むと10分ほどでスイセン(二ホンスイセン)の大群落が見れた。葉を落とした雑木林の奥まで水仙が咲き広がるさまは見ごたえ十分で、思わずメンバーの歓声が上がる。ここは遊歩道中で最大の群落地だという。色々な水仙の中でも二ホンスイセンは清楚で何かしら気品があり、まさに今日のフィナーレを飾るにふさわしい光景だ ◆水仙を堪能した後は10分ほどでバスの待つ道の駅「富楽里とみやま」へ。今回は参加者が16名といつもより少なかったが、雨にも遭わず、花盛りのお水仙を満喫でき、帰路渋滞もなく無事帰還した。(南雲記)



北市民セ 6:00 → 若葉駅 6:20 → (新倉 SA、海ほたる PA) → 鋸南富山 IC 9:10 → 福満寺登山口 9:25 着、登山開始 9:35 → 富山南山 10:45 → 北峰 11:15 着 (昼食) 12:00 発 → 北峰登山口 12:30 → 伏姫籠穴 12:45 着、13:10 発 → 水仙遊歩道 13:50 着 (水仙見学) 14:10 発 → 道の駅「富楽里」14:30 着、15:00 発 → (海ほたる PA) → 北市民セ 17:45 @4500

